

商品にとって、お客様にとってベストな「はこぶ」を実現します

～ 倉庫管理システムを活用した輸配送管理サービスのご紹介 ～

倉庫事業を行う阪南倉庫株式会社（本社：大阪府堺市 代表取締役：堀畑浩重）は、倉庫管理システム（以下、WMS）の情報を駆使して運送会社と連携し実現する輸配送の取り組みを公開しました。

WMS にはお届け先に関する情報として、最適な運送便が一つ登録されています。ただし数量増加や納期短縮、また運賃変更によるコストアップなどの理由で急きょ運送便変更が必要になることがあります。

その場合にも当社が契約する運送会社から条件に照らして変更し、ベストな運び方を提示します。



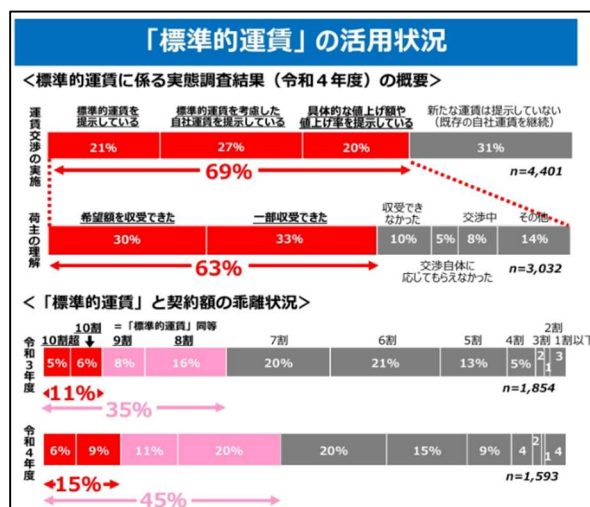
背景

運送業界では適正運賃の収受や配達前後に発生する付帯作業の見直し、ドライバー給与の向上に向けて取り組みを続けています。

当社も多くの運送会社と契約しており、この様な要請に応えています。同時にお客様である荷主へは物流サービスの向上が求められ、両者を両立させる必要があります。

上昇する運賃に対し、「そのとき一番安い運送会社を使う」を繰り返すだけでは輸送品質の安定に繋がりません。

そこで当社は40社近い運送会社の強みを整理し、どうすればお客様により良いサービスを提供できるのか、改めて見直しました。



<お問い合わせ先>

阪南倉庫株式会社 営業部 担当：泉、小島 TEL：会社 0725-23-7022 MAIL：eigy@capsohn.co.jp

概要

WMS の出荷先マスタには路線便 1 社が運送便マスタとして登録されています。これは運賃やリードタイム、出荷容積などが考慮され、出荷先の所在地に強い運送会社を選択しています。

しかしお届け先の都合で、数量が数倍に増えたり、お届け時間帯が指定されたり、あるいはいつもと違う場所へ届けてほしいと依頼されることがありますが、マスタ登録した路線便ではコストが上がったり、対応そのものが無理な場合があります。

解決するためには、他の対応可能な運送便に変更するか、あるいは他の運送手段を組み合わせる実現するか、個別検討が必要になります。

当社ではこれまで様々な理由による輸配送手段を採っており、事例とともに一部をご紹介します。

【過去の事例】

お客様の困りごと	当社ができること	お客様のメリット
お届け先が外国に変わり、通関手続も必要になった	海上コンテナを手配し、輸出通関～船積みまで行います	輸出入の場合も、これまでと変わらず当社へ依頼できます
お届け先が運送会社を指定してきた	契約運送会社であれば問題ありません（お届け先の引取りも即対応可能）	お届け先の要望に沿って対応できます
お届け先が納品日時を指定してきた	日中のほか、貸切便による早朝・深夜納品にも対応します	お届け先の要望に沿って対応できます
お届け先が一度に大量の品物を注文してきた	貸切便で対応し、複数のトラックでの同時お届けも可能です	一括納品することで運賃を最小化できます。
お届け先が個人宅になった	いわゆる宅配便のほか、貸切便によるお届けも可能です	数量などに合わせて柔軟に運送便を選べます

課題解決に向けて

物流 2024 年問題を受け、運送業界の労働環境改善につながる取組みの一環として「各地域に根ざした地場の運送会社とのつながり強化」を進めています。

このような運送会社は地場の運送事情に精通しており、きめの細かいサービスが期待できます。また配達区域内に限定した荷物の増加であれば、売上と輸送効率がともに向上するのではないかと考えています。

今後も様々な特徴ある運送会社との連携を進めていきますが、一方では倉庫を出入りするトラック増加につながり、倉庫での荷物待ち要因にならないような設計が大切です。

お客様に対しても、ただ運送会社の選択肢を増やすだけでなくサービスの選択肢を増やすことが重要ですので、共同配送やルート配送など、他の様々な輸送形態も見据えながら輸配送管理サービスの向上に努めます。

＜お問い合わせ先＞

阪南倉庫株式会社 営業部 担当：泉、小島 TEL：会社 0725-23-7022 MAIL：eigy@capsohn.co.jp